

## 日本アムウェイ株式会社

Adobe Acrobat 8でレビューを集約し  
出版物の信頼性向上と効率化を実現

グループによる同時レビューを実現し、校正ワークを軽減



左から、日本アムウェイ株式会社 コミュニケーション本部  
コミュニケーション総合管理グループ  
ECMプログラムマネージャー 清水 誠氏  
媒体管理グループ リーダー 植山比呂志氏  
コミュニケーション総合管理グループ リーダー 滝口恵理子氏

現在、カタログやパンフレットなどの出版物がデジタルで制作するのが一般的になった。しかしその制作過程でページ内容に間違いがないか、担当部署で確認する作業（校正、またはレビュー）には時間と労力が必要だ。また、こうした作業をプリントアウトで行うとミスも多く発生する。そこでPDFによる校正作業のツールとして利用されたのがAcrobatだ。



## 日本アムウェイの出版物

同社の化粧品や栄養補給食品など、品質の良さや材料を詳しく伝えるには、多くのカタログやパンフレットが必要になる。また、顧客やディストリビューターとのコミュニケーションにも欠かせないツールでもある。

日本アムウェイは、栄養補給食品や化粧品など、品質にこだわり開発・製造した製品を、ディストリビューター（登録販売員）が顧客に直接製品の良さを伝えながら販売する「ダイレクト・セリング」で事業を展開している企業だ。

アメリカに本社を持つアムウェイは、世界57の国と地域で展開しており、日本では1979年より営業を開始。約68万組のディストリビューターが登録しており、売上高は約1,110億円、従業員538人で構成されている（2006年12月末現在）。

一般媒体では露出の少ないダイレクトビジネスを展開するにあたり、製品の魅力や特長を顧客にどう伝えるかが鍵となる。そこで製品カタログや会報誌、製品リーフレットといった印刷物は、ディストリビューターの手から手に直接渡る重要なセールスツールとなる。

年間100種類以上にも及ぶこれらの出版物の中には、製品情報や個人名など多くの情報が含まれており、その行程における校正（レビュー）作業にも多大な時間が割かれる。そこでDTPによるデジタル編集から作成したPDFによる校正作業のツールとして利用されたのがAcrobatだ。

## 大きな負担になっていた紙による校正作業

コミュニケーション本部はアムウェイが発行するカタログやパンフレットなどの販売促進物から、Webやビデオなど広報物全般の制作を行う、アムウェイのビジネスを支える重要な部署である。数十万部を発行するカタログや会報誌上で、制作から印刷までの間に行う紙面の校正作業で注意する事としてコミュニケーション本部植山氏は以下の点をあげた。

「カタログや会報誌などの出版物で絶対間違えられない点として、まず受発注にかかわるものがあります。発注番号や価格、ディストリビューターコストやポイントなどの数字に神経を使います。それと人に関わるビジネスなので人物の名前や、ピン・レベルなども大事で間違いが許されないところです。」

DTPによる制作は導入されていたが、校正作業はプリントした紙と向かい合う作業を行っていた。コミュニケーション本部滝口氏は紙による校正の大変さについてこう語る。「以前は、プリントアウトした紙にコメントを記入したり、メールや口頭で伝えるなど担当者ごとにバラバラで行っていました。チェックする30人分をコピーし、校正が終わったら30人分の校正をすべて1つにまとめていました。人によって校正の書き方が違うので誤解しやすいですし、FAXで送ると文字が読み取りにくいなどの問題がありました。」

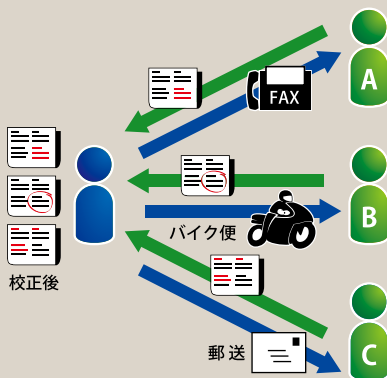
そこで出版物の制作過程で発生するこうした課題の解決を検討した結果、AcrobatとPDFによる校正を導入した。

Acrobat上で校正することで、  
膨大な数のカラーコピーを削減できた

清水 誠氏

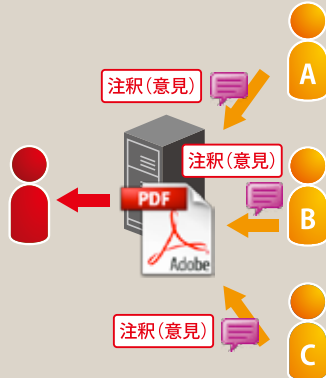
### 以前の校正

全ての原稿を校正者の人数分プリントアウトして校正依頼。多数のフィードバックを取りまとめ。



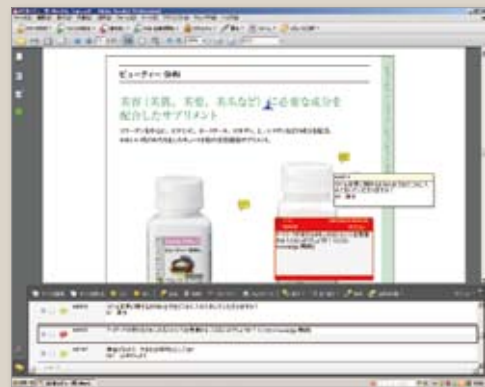
### 共有レビューによる校正

PDFファイルを校正者にメールで配信。他の注釈を参照しながら自分の注釈をアップロード。全員の校正を1つのPDFに集約。



### Acrobatでレビューを行う

ひとつのPDF上で複数のレビュー担当者の意見が参照できる。



## Adobe Acrobat導入による作業効率の向上

紙での校正作業は大きな負担になっていたが、Acrobatの導入によってPDF上にコメントが出来るようになったことで、大幅に作業効率が上がった。「カラーコピーが減り、コストが削減できました。」加えて、コメントの回収負担や読み違いミスなども減った。PDFの注釈に入力したテキストをコピーして利用できるのもミスも起きにくい。部内では校正に使う注釈ツールなどの機能の使い方に絞り込んだマニュアルを作って工夫しながら知識の共有に役立っている。

### サーバー上でPDFを共有し

#### さらに効率的なレビュー環境を構築

PDFをサーバーに置き、そこに担当者が各々アクセスして校正が行える「共有レビュー」を使うとさらに効率が上がると清水氏は語る。

共有レビューはAcrobat 8から搭載された機能で、社内にある既存のファイルサーバを利用して、レビュー担当者がお互いの注釈を参照しながらレビューを行えるため、チームでのレビューをより効率的に行うことができる。レビュー担当者が付けた注釈は、サーバー上で共有され、誰かが注釈をつければ、すぐにPDFに反映される。

「まず、ページの多いカタログをAcrobatの共有レビューウィザードによってサーバーにPDFをアップロードします。レビューの担当者には、そのサーバー上のリンクを記載したメールを送信し、受領した担当者はリンクからPDFファイルを開きます。そしてそのまま注釈を付けてサーバーにアップロードすると、レビュー担当者全員がその注釈を参照することができます。ひとつのPDFファイルを確認担当者が全員で共有することで、バラバラのファイルに同じ注釈を付けるような重複も避けられます。また担当者ごとにチェックする場所も違うので、ファイルを分割せずに一括してチェックが行えるのも共有レビューのメリットです。」

「共有レビューは、電子メールのみでレビューする場合と比較して多くのメリットがあります。電子メールでやりとりする場合、送付用のメールリストを

作ったり、1人ずつメールでコメントのついたPDFが送られてくるため、添付ファイルも大きくなりますし、メールボックスがパンクしてしまうこともあります。共有レビューを使えば、レビュー担当者ごとに存在するコメント付きPDFを集める必要がなく、コメントは一つのPDF上に全て集約されます。」

共有レビューを使えば、メールサーバに負担をかけることなく内容の確認とレビューが行え、レビュー効率を飛躍的に高めることが可能だ。

### 出版物をPDF化し情報を共有

#### 全てのデジタルデータを閲覧しやすく管理する

出版物をPDF化しデータの状態でしておくことでいつでも閲覧、検索が実行できるようになる。滝口氏はPDF化したことによるメリットをこう語る。

「カタログとして作成したPDFはイントラネット上に置いて閲覧ができるようになっています。文章表現や単語を検索する場合にもすべてのデータを一括して探し出すことができますし、文章に変更があった場合にも探し出しやすい。今までは数百ある印刷物を一枚一枚確認したり、記憶から探すしかなかったんですが、人間の目ではどうしても見落としがありますから。」

また、ディストリビューター用のサイトでも、販促ツールとしてAcrobatでセキュリティをかけたPDFを閲覧できるようにしている。

さらに、日本アムウェイでは清水氏の主導の下、データ一元化を進めている。「当社ではDAM(デジタルアセット管理システム)を導入しています。将来的にはAcrobatと連携して全てのデータ管理とレビューをこの上で行うことも視野に入れていきます。」

Acrobatを使ったレビュー、PDF/Xによる印刷入稿のワークフローを導入することで、ミスが少なく信頼性の高い出版物の発行を実現できた。今後は全てのデータを格納するコンテンツ管理サーバーと共有レビューを組み合わせることで、効率化をさらに向上させていく予定だ。

### 会社データ

日本アムウェイ株式会社  
東京都渋谷区宇田川町7-1  
<http://www.amway.co.jp>



### チャレンジ

配布から回収、取りまとめに手間とコスト、時間のかかる制作物の校正作業を効率化する。

### ソリューション

Acrobat 8を用いて複数の人がお互いのコメントを参照しながらPDFに注釈を付与するレビュー作業。

### ベネフィット

コメントの重複を回避し、より効率的なレビュー作業が可能に。コメントの読み取りミスがなくなり、コメントの取りまとめも迅速になった。

### 使用したアドビ製品

・ Adobe® Acrobat® 8 Professional

アドビシステムズ株式会社 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2ゲートシティ大崎 イーストタワー・www.adobe.com/jp

Adobe Systems Incorporated 345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704 USA・www.adobe.com

カスタマーサービス (製品に関するお問い合わせ) 0570-067337(ナビダイヤル) アドビストア (注文専用) フリーダイヤル 0120-61-3884

受付時間 9:30~17:30 土、日、祝日および弊社指定休日を除く ※アドビストアはアドビのオンラインストアです。

Adobe, Adobeロゴ, Adobe Acrobat, InDesign, Photoshopは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

©2008 Adobe Systems Incorporated.All right reserved.

